



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月8日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6095 URL <http://medpeer.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石見 陽  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 平林 利夫 (TEL) 03-6447-7961  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	710	—	29	—	23	—	△8	—
28年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 △8百万円(—%) 28年9月期第2四半期 -百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	△0.95	—
28年9月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成28年9月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	1,827	1,212	65.7
28年9月期	1,754	1,221	68.9

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 1,200百万円 28年9月期 1,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	120.8	100	73.2	80	56.1	25	5.9	2.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社フィッツプラス、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	8,669,450株	28年9月期	8,666,950株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	1株	28年9月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	8,669,409株	28年9月期2Q	8,578,005株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社は、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属する医療・健康産業においては、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者に達する事により社会保障費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題を背景に、健康寿命を延ばすこと及び社会保障費の増加に歯止めをかけることが喫緊の課題として認識されております。また、日本政府も『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置いた新しい医療・介護システムを2020年までに本格稼働させることとしております。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、MedPeerサイトを通じた医師への情報提供のみならず、予防・健康管理を含めたヘルスケア領域全般を事業領域として拡大させるとともに、各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高710,525千円、営業利益29,936千円、経常利益23,141千円、親会社株主に帰属する四半期純損失8,203千円となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

#### ①ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間において、10万人超の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上する施策を展開してまいりました。さらに、前第4四半期連結会計期間の再成長基調を継続するとともに、Web講演会などの新商品の拡販等により収益拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は560,021千円、営業利益は134,096千円となりました。

#### ②ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第2四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatが運営する遠隔医療相談サービス「first call」、及び、株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業、並びに、パーソナルダイエットサービス「Diet Plus」の各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は151,418千円、営業損失53,247千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて72,938千円増加し、1,827,358千円となりました。これは現金及び預金51,776千円と有形固定資産10,772千円の増加を主要因とするものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて81,570千円増加し、614,481千円となりました。これは短期借入金60,000千円、未払法人税等21,329千円の増加を主要因とするものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8,632千円減少し、1,212,877千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金8,562千円が減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ51,776千円増加し、901,987千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、74,908千円千円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を23,141千円計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、19,220千円となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出20,105千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、19,755千円となりました。この主な要因は、短期借入による収入20,000千円と長期借入金の返済による支出40,130千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において株式会社フィッツプラスを新たに子会社化し、連結範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

### (2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	850,211	901,987
受取手形及び売掛金	240,700	249,326
その他	49,478	46,516
貸倒引当金	△36	△32
流動資産合計	1,140,353	1,197,798
固定資産		
有形固定資産	48,183	58,956
無形固定資産		
のれん	156,629	374,220
その他	70,641	84,225
無形固定資産合計	227,271	458,445
投資その他の資産	338,612	112,158
固定資産合計	614,067	629,560
資産合計	1,754,420	1,827,358
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	—	2,585
短期借入金	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	76,648	80,260
賞与引当金	24,267	12,803
ポイント引当金	42,546	30,123
未払金	42,095	69,027
未払法人税等	5,643	26,973
その他	25,831	44,427
流動負債合計	217,032	326,201
固定負債		
長期借入金	300,666	265,132
資産除去債務	15,212	17,763
その他	—	5,384
固定負債合計	315,878	288,280
負債合計	532,910	614,481
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	506,205	506,393
資本剰余金	528,629	528,817
利益剰余金	174,052	165,489
株主資本合計	1,208,887	1,200,700
新株予約権	12,622	12,177
純資産合計	1,221,509	1,212,877
負債純資産合計	1,754,420	1,827,358

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	710,525
売上原価	186,777
売上総利益	523,748
販売費及び一般管理費	493,812
営業利益	29,936
営業外収益	
受取利息	4
受取補償金	1,836
その他	558
営業外収益合計	2,399
営業外費用	
支払利息	1,271
持分法による投資損失	7,328
為替差損	427
その他	166
営業外費用合計	9,194
経常利益	23,141
税金等調整前四半期純利益	23,141
法人税、住民税及び事業税	24,103
法人税等調整額	7,240
法人税等合計	31,344
四半期純損失(△)	△8,203
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,203



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△8,203
四半期包括利益	△8,203
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,203

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	23,141
減価償却費	17,067
のれん償却額	38,157
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,463
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△12,423
受取利息及び受取配当金	△4
支払利息	1,271
持分法による投資損益(△は益)	7,328
売上債権の増減額(△は増加)	15,137
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,524
未払金の増減額(△は減少)	12,671
その他	△2,575
小計	79,780
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△1,247
法人税等の支払額	△3,628
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>74,908</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△9,965
無形固定資産の取得による支出	△10,140
差入保証金の回収による収入	885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,220
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	20,000
長期借入金の返済による支出	△40,130
株式の発行による収入	375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	35,932
現金及び現金同等物の期首残高	850,211
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	901,987

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	560,021	150,503	710,525	—	710,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	915	915	△915	—
計	560,021	151,418	711,440	△915	710,525
セグメント利益又は損失(△)	134,096	△53,247	80,849	△50,912	29,936

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去915千円、各報告セグメントに配分していない全社費用51,827千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから「ドクタープラットフォーム事業」と「ヘルスケアソリューション事業」に区分する変更を行っております。これは、前連結会計年度の連結決算日において株式会社Mediplatを、第1四半期連結会計期間の期首より株式会社フィッツプラスを連結の範囲に含めたことに伴い、見直しを行ったことによるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

当社が平成28年10月1日付で株式会社フィッツプラスの株式を取得し、新たに連結子会社としたことに伴い、「ヘルスケアソリューション事業」セグメントにおいて、のれんが255,749千円増加しております。